



# すぎなみ 教育報



No.219  
平成27年12月10日  
(年4回発行)

すぎなみの教育情報発信中!

教育委員会ホームページ  
<http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp/>

発行  
杉並区教育委員会  
杉並区阿佐谷南1-15-1  
☎ 03-3312-2111 FAX 03-5307-0692

## ICT Information and Communication Technology を活用した教育の推進

現在、杉並区の区立学校では、子ども同士が自分の考えを発表し、互いに学び合い、高め合うことができる「協働的な学び」を進めるため、ICTを活用した効果的な指導方法に関する研究や実践を積み重ねています。今回は、平成26・27年度の2年間を通して「ICT活用で実現する協働的な学び」をテーマに区の教育課題研究指定校としての教育活動を行ってきた桃井第三小学校の取組と、中学校のICT活用事例を紹介します。

研究テーマ

ICT活用で実現する協働的な学び～タブレット端末等を活用して～

桃井第三小学校の取組

### 『ICT環境整備』

- タブレット端末250台の活用  
(5・6年生：1人1台／4年生以下：グループ1台)
- 電子黒板機能付プロジェクターの活用
- デジタル教材の活用

### 『協働的な学び』とは

子ども同士が意見交換をしたり、まとめたことを発表したりしながら、思考力、判断力、表現力などの育成を図ることをめざす学習形態です。「協働的な学び」によって、他者と協力して問題を解決する力を身に付けることができます。

#### (1) 自分の考えをもつ

課題を明確にして、意欲的に学習します。



ICTを活用して、大きな写真や動画等で効果的に提示することによって、「学習のめあて」がこれまで以上に分かりやすくなり、児童は、学習に興味と関心をもって、意欲的に取り組んでいます。タブレット端末は、インターネットに接続されているので、児童は簡単に調べ学習ができ、考えを整理し、まとめているのに効果的です。

#### (2) グループで話し合う

意見を交換し、表現豊かにまとめます。



紙面のみを使う場合と異なり、タブレット端末では、多くの資料や写真、動画を使って表現できるので、友達に分かりやすく自分の考えを発表できます。グループで話し合った内容の追加、修正などもタブレット端末で簡単にでき、しっかりとまとめることができます。

#### (4) 自分の考えを深める

学習を振り返って考えを見直します。



#### (3) 全体で共有する

友達の意見を知り、考えを広げます。

児童のタブレット端末は、教師のタブレット端末や電子黒板ともつながっていて、クラス全員の考えを電子黒板に瞬時に投影することができます。多くの友達の考えと比較して、考えを広げたり、最初の自分の考えを振り返って見直したりする、「子どもたちが考える時間」が増えました。

## 「協働的な学び」

桃井第三小学校では、ICTを活用することで誰もが「学習のめあて」をとらえやすくなり、児童がこれまで以上に学習に意欲的に取り組むようになりました。また、グループでの意見の交換、話し合い活動が活発になり、思考も深まってきています。さらに、タブレット端末等を活用することで、プレゼンテーションも自分から行うようになり、表現力も高まってきています。

今後、全ての区立学校に計画的、段階的にタブレット端末等の導入を含めて、さらにICTの環境を充実させていく予定です。研究指定校での実践で得られた成果を踏まえ、知識理解のみならず、思考力、判断力、表現力など21世紀に特に必要とされている学力を身に付けていけるよう、子どもたちの成長を支える教育を進めていきます。

年間連載シリーズ(第3回)

～子どもの学びの可能性を拡げる～ 中学校のICT活用事例

#### 中瀬中学校



1年理科「身のまわりの物質」の学習では、実験後の学習のまとめとして、NHKが作成している動画コンテンツを電子黒板に映し出し、学びを振り返りました。動画コンテンツは、実際に実験した内容の振り返りに加え、実験することが難しい内容を確認する際にも、視覚的に分かりやすく、知識の定着を図る時にも役立ちます。生徒からは、「学習の内容は難しいけれど、動画を見るとより分かりやすい」といった声が聞かれました。

#### 西宮中学校



3年数学科「相似な図形」の学習では、生徒が書画カメラとプロジェクターを用いてワークシートを拡大して映し出し、自分の考えを説明しました。これまでは、自分の考えを発表するためにホワイトボードやミニ黒板に清書し直さなければなりませんでした。ICTを活用することで、考えを瞬時に伝え合うことができます。このことにより、生徒が思考したり、友達の発表を基に考えを広げたりする時間が増え、より深い学びへとつながっています。

問合せ：済美教育センター ☎ 03-3311-0021

# わたしたちは多様な学び・教育活動に取り組んでいます

## 杉並区における小・中学校、教育委員会での各取組を紹介します。

### 土曜授業での科学的体験授業

各学校では、多くの子どもたちが理科や科学に親しみ、楽しさを実感できるよう、教育活動を工夫して実践しています。今回は土曜授業等を活用して優れた科学的体験活動を実施している学校を紹介します。

神明  
中学校

大学の先生等を招いて、それぞれの専門分野に触れる授業を実施しました。講師の先生からは「力学」や「錯覚」など、普段の授業よりも高度な内容についての講義があり、生徒は自分なりに理解できたことをまとめ、発表しました。



2年C組「情報処理について」

東田  
小学校

済美教育センターの理科指導員による科学おもちゃづくりやマドラーづくりなど学年に応じた科学教室「東田さいえんすタイム」を実施しました。実験器具の扱いなど、授業で学んだことを生かしながら、意欲的に活動に取り組みました。



6年1組「マドラーづくり」

桃井第五  
小学校

サイエンスタイムを実施しました。内容については理科専科と学年担任で相談しますが、学級の先生が中心となり、授業を行いました。また、4年生は、外部講師としてJAXA(宇宙航空研究開発機構)の方を招いて、ロケットの仕組みについて学びました。



4年「ロケットを飛ばそう」

### 食育の推進・一層の充実

#### 【三谷小学校 スーパー食育スクールの実践「さんやすくすく計画」】

三谷小学校では、平成26年度に文部科学省「スーパー食育スクール」の指定を受け、食育の取組を進めてきました。その成果発表を11月20日(金)に報告会として行いました。



具体的には、6年 練馬大根の収穫



忍野村との連携による米づくり  
5年「育てよう 広めよう 日本の味」

学校給食や地域生産者との交流を通じて、和食教育や国産食材を活用した和食給食の充実を図りました。保護者・地域と連携する中で、江戸東京野菜の栽培や忍野村との連携による夏野菜収穫など食育を通じた健康増進、地産地消の推進、食文化理解の取組も行いました。



漁協の協力による  
1・2年「さかなにふれよう」

「継続は力」。今年度は東京都教育委員会健康づくり功労(学校給食分野)優秀学校として表彰を受け、「第2次すくすく計画」として「和食朝食」、「たまご料理大募集」など推進中です。

#### 【すぎなみウェルネスDAY2015】

10月31日(土)杉並第十小学校において、子どもたちの生活を「運動」・「食育」・「生活習慣」の3つの視点から捉えた総合イベント「すぎなみウェルネスDAY2015」を開催しました。



食育部門では、学校給食の試食会や食育ゲーム、中学生の食育をテーマにした作品展示などを行い、児童・生徒、保護者などの参加者にとって、食に関する素養を深める有益なイベントとなりました。

### 杉一小ジュニアバンドが東日本学校吹奏楽大会で金賞を受賞

札幌市で開かれた第15回東日本学校吹奏楽大会〔小学校部門〕に杉並第一小学校ジュニアバンドが東京都代表として初出場し、見事金賞を受賞しました。曲目は、バレエ音楽で有名なチャイコフスキー作曲「白鳥の湖」より終曲。繊細でダイナミックな曲想を吹奏楽で奏でました。「この大会に出場できたことを嬉しく思うとともに、代表校として演奏できたことはとてもよい経験となりました。これまで多くの方から様々なことを教えていただき、励ましていただいたことへの感謝の気持ちでいっぱいです。(一杉拓部長より)」



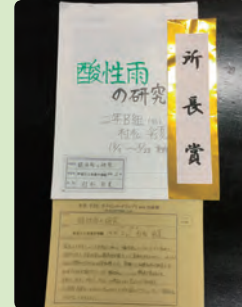
大会への参加にあたり、地域の方々から多くの温かいご支援や励ましのメッセージをいただきました。ありがとうございました。

### 杉並区立中学校連合文化祭 杉並子どもサイエンス・グランプリ2015

11月5日(木)～8日(日)に、「杉並区立中学校連合文化祭」が開催されました。今年度は、例年の音楽発表会、英語学芸発表会、美術・技術・家庭科作品展、書評座談会、演劇発表会に加え、「杉並子どもサイエンス・グランプリ2015(科学創意工夫展)」を開催し、身の回りの疑問や不思議なことについて、中学生が創意工夫しながら研究・製作した作品を展示しました。

受賞  
作品

教育長賞  
「働きアリは  
本当に「働きもの」なのか」  
宮前中学校2年 山口祐加



所長賞  
「酸性雨の研究」  
松溪中学校2年 村松彩夏

### 杉並和泉学園における小中一貫教育の取組

杉並区で最初の施設一体型小中一貫教育校「杉並和泉学園」が開校して半年が経ちました。1つの職員室で小中の教員が情報交換を行ったり、様々な課題の解決に向けて協力し合ったりし、教育効果の向上に結び付けています。

11月13日(金)～14日(土)に行われた小学部の学芸会では、6年生の演目の前に中学部による合唱が行われました。小学生は中学生の響き渡る合唱の調べに憧れ、中学生は上級生としての役割を自覚する機会となりました。このような具体的な取組により、子どもも保護者も9年間の学びの成果を実感することができました。今後も施設一体型の利点を生かした教育の推進に努めていきます。

杉並和泉学園小学部 学芸会の様子



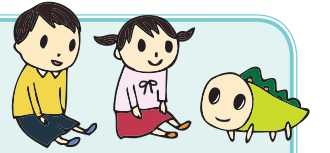
小学部  
の演技



中学部  
の合唱

# 学校の応援団

# 「学校支援本部」 活躍しています



学校支援本部とは、学校のニーズと地域の力を結びつけながら子どもたちの学びを支える、ボランティアによる「学校の応援団」です。

学校の要望に応じて授業支援のほか、放課後の学習支援、部活動の支援、図書室や校庭などの学校環境整備、登下校安全指導など、地域の特色を生かした様々な活動を行っています。



学習補助



読み聞かせ



伝統文化（能楽）



福祉体験（歩行介助）

## 文部科学大臣表彰を受賞！ 天沼小学校支援本部「あまめまワンダラーズ」

この度、天沼小学校支援本部「あまめまワンダラーズ」が、地域人材と学校をつなぐ様々な取組とそのコーディネート力が評価され、『平成27年度優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰』を受賞しました。これは、全国で行われている学校支援活動のうち、特に優れている活動に対して文部科学省が表彰するものです。これで、杉並区立の学校が5年連続の受賞となりました。

「あまめまワンダラーズ」では、①規範意識を育てる日本の伝統・文化理解学習（華道・茶道・書道・百人一首・和楽器等）、②地域を愛する心や生き方を学ぶキャリア教育、③朝の読み聞かせや授業時間に実施するお話し会、④昨年度から実施している土曜授業のコーディネートなど、地域の方々の知識や経験を生かした様々な学校支援を行っています。



キャリア教育（お店番体験）



昔遊び体験

### 文部科学大臣表彰 歴代受賞校（学校支援本部）

- 平成27年度 天沼小学校支援本部「あまめまワンダラーズ」
- 平成26年度 三谷小学校支援・地域共生本部
- 平成25年度 桃井第四小学校「もしも学校支援本部」
- 平成24年度 杉並第一小学校支援本部
- 平成23年度 井草中学校支援本部「〇（えん）」

12/19  
(土)  
開催

## すぎなみ教育シンポジウム「学校支援本部の取組を振り返り、次の10年を展望する」

学校支援本部設置開始から10年目を迎えることを機に、子どもの学びや学校を応援したいと考える保護者の方や多くの皆さんにお集まりいただき、学校支援本部の可能性や課題について参加者全員が語り合う「すぎなみ教育シンポジウム」を開催します。ぜひご参加ください。

【日時】平成27年12月19日（土） 午後1時30分～4時30分（開場 午後1時）

【会場】高井戸地域区民センター・体育室（杉並区高井戸東3-7-5）

【内容】第一部 ワールドカフェ「みんなで話そう！考えよう！」

《進行》山ノ内 凜太郎（一般社団法人ISP代表理事）

第二部 シンポジウム

《進行》野口 晃菜（株式会社LITALICO執行役員）

《登壇者》大嶋 正人（方南小学校学校支援本部長）

今村 久美（認定NPO法人カタリバ代表理事）

都木 求枝（杉並和泉学園中学部教員）

【定員】300名（申込順）

【申込】電話またはEメールで申込み。Eメールの場合、件名「すぎなみ教育シンポジウム」、本文に①氏名（フリガナ）②電話番号を記入してください。

【問合せ】杉並区教育委員会事務局 学校支援課学校支援係 ☎03-3312-2111 ✉: gako-sien@city.suginami.lg.jp

【その他】筆記用具をご持参ください。学校支援本部の歴史や活動等を掲載した冊子「学校支援本部ってなんだろう BOOK」を当日配布します。



山ノ内 凜太郎



野口 晃菜

# ウィロビー市との海外交流 成果報告会

## We will be a solid bridge made of Japanese cedar and coolibah tree! ~ (オーストラリアと日本の堅固な架け橋になろう!)

平成27年8月18日（火）～8月30日（日）に実施した、杉並区中学生海外留学事業の成果報告会が、11月28日（土）に久我山会館で行われました。派遣生徒たちは、一人ひとりが自ら設定した研究課題についての発表を行ったり、ウィロビー市の方に日本の文化を紹介するために行った詩の朗読、杉並区の環境や歴史・文化を英語で伝える「My City Suginami」を発表したりしました。



出発前の取組 (8/4)

西宮中学校のテレビ会議システムを活用した現地校との交流



海外留学中 (8/18～30)

現地校では体験活動を含め、英語学習やオーストラリアの文化について学ぶなど、様々な活動に積極的に取り組みました。



成果報告会 (11/28)



成果報告会は、派遣生徒それぞれの学びを伝える場となりました。

参加者から一言

🗣️ ホストファミリーとお別れでは涙が止まりませんでした。1週間という短い間でも、一緒に生活するというのがこんなにも強く確かなものを築くのかと、「家族」の存在の大きさを改めて感じる事ができました。

(井荻中学校 3年 浜橋 奈実香)

🗣️ 今回の留学では、自分の思いを伝えることの大切さを学びました。もっと自分の話したいことを伝えられるよう、これまで以上に勉強し、学んだことを日々の暮らしに生かしていこうと思います。

(富士見丘中学校 3年 関口 真琳奈)

🗣️ オーストラリアの豊かな美しい自然と人々との調和が印象的でした。2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、海外の方々に日本の自然の良さを感じてもらえるような自然を作りたいと思いました。

(東京都立三鷹中等教育学校 3年 松村 颯太郎)

### ペン知る 区民参加型展示「杉並区の小学校校歌 ～子どもたちはなにを歌ってきたのか～」

小学校の校歌を通して、子どもたちがなにを歌ってきたのかを見つめます。

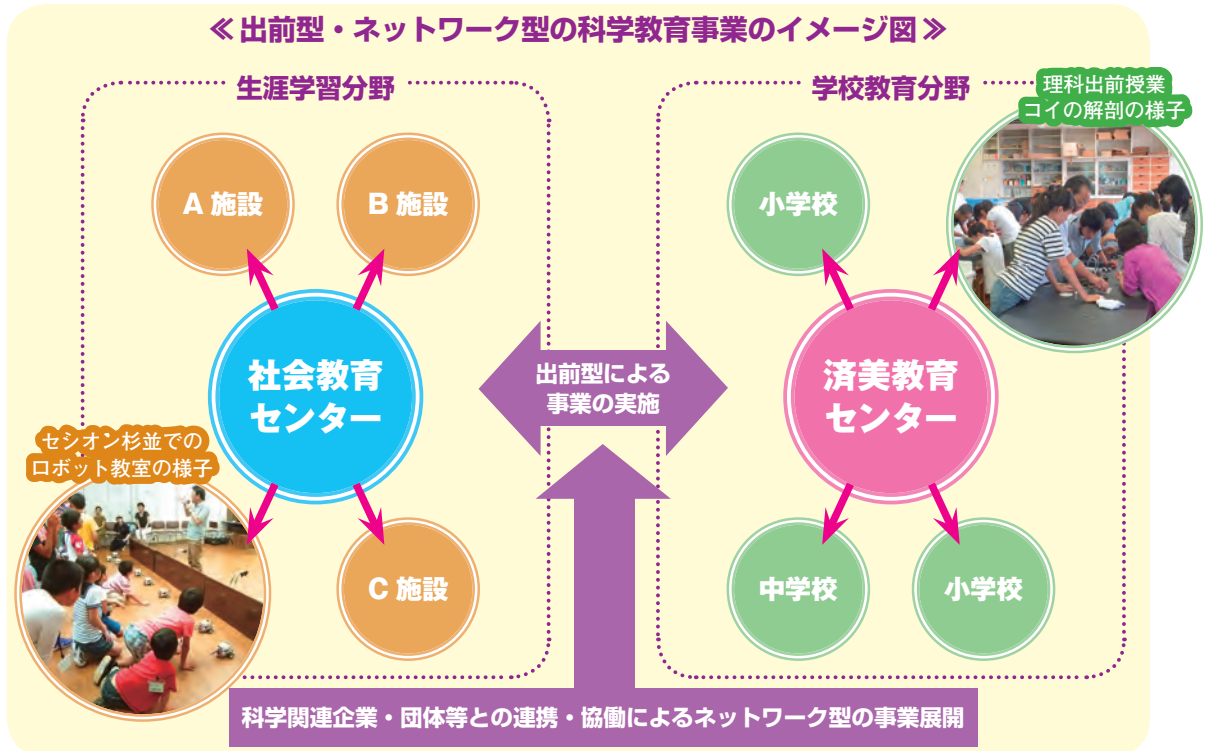
小学校の沿革や校歌成立までの背景とともに、その歌われた風景や志など歌の世界観を紹介します。実施団体：NPO法人すぎなみムーサ

【展示期間】平成28年1月9日（土）～3月27日（日） 【問合せ】郷土博物館分館 ☎03-5347-9801

【休館日】毎週月曜・毎月第3木曜（祝日の場合はその翌日が休館）及び年末年始（12月28日～1月4日）

# 区立科学館の閉館と今後の科学教育の取組について

- 区では、区議会の議決を経て、平成27年度末をもって施設・設備の老朽化が著しい科学館を閉館することとしました。
- 今後は、ICTやデジタル技術の発達により、高度化・小型化された設備・機器を活用して、身近な地域施設等で常に最先端の科学を提供し、子どもから大人まで、世代を超えて科学に親しみ、学ぶことができる「次世代型の科学教育」を一層推進していきます。
- 平成27年度からは、これまでの科学館で行っていた事業を、社会教育センター及び済美教育センターが継承し、従来の「来館型」から「出前型・ネットワーク型」の科学教育事業として発展的に実施しています。
- また、こうした出前型・ネットワーク型による事業展開に加え、より多くの区民が生涯にわたって科学について学び続けることができる環境を充実する観点から、右のような機能を備えた「新たな科学教育の拠点づくり」の検討を進めています。



- 「新たな科学教育の拠点」に求められる主な機能
- 展示、実験工作機能
  - 最新の科学情報に関するライブラリー・学習機能
  - 区民・団体等の交流・相談機能
  - 出前型事業等の企画・運営機能

※「次世代型科学教育の拠点づくりに関する調査・研究業務報告書」(平成27年10月)より(報告書は、教育委員会ホームページに掲載しています)

長年にわたる科学館へのご愛顧に心から感謝いたしますとともに、次世代型の科学教育の推進に向けた取組にご期待くださいますようお願いいたします。

問合せ：生涯学習推進課 施設担当

## 見てみよう触れてみよう 杉並の伝統と暮らし

### 郷土博物館の催し

○ 収蔵資料展  
「家族で語ろう！昔の暮らしと今の暮らし」

会 期：平成27年12月12日(土)～平成28年2月21日(日)  
午前9時～午後5時

会 場：郷土博物館内1階特別展示室

休館日：毎週月曜・毎月第3木曜(祝日の場合はその翌日が休館)及び年末年始(12月28日～1月4日)



ローラー式洗濯機



火鉢

電化製品が一般家庭に普及する昭和30年代を境に、私たちの身の回りにある暮らしの道具は劇的な変化を遂げてきました。それまでは火を熱源として炭や薪を日常的に使用し、洗濯や掃除も手作業でした。暮らしのリズムも現在とは異なりました。電化製品普及の前後の道具を比べることで、当時の人々の生活や、変化に対する思いが見えてきます。本展では、懐かしい道具とともにライフラインの歴史やまちの移り変わりについても紹介していきます。是非ご家族で、思い出話を語りながらご覧ください。

### 古民家の年中行事

○ 新春吉例「大宮前の獅子舞・大黒舞」

日 時：平成28年1月10日(日) 午後2時～2時30分

会 場：郷土博物館内 古民家  
古民家で、正月の獅子舞と大黒舞を大宮前郷土芸能保存会により行います。お正月らしいめでたい雰囲気を感じてみてはいかがでしょうか。



大宮前の獅子舞・大黒舞

○ 参加募集「親子で体験！博物館 まゆだんご作り」

日 時：平成28年1月11日(月・祝) 午前10時～12時

まゆだんごとは、新年に蚕のまゆや農作物の豊作を祈って作る飾りものです。博物館の古民家で、農家の昔ながらの正月行事を楽しんでみませんか。作ったまゆだんごは、1月17日(日)まで古民家内に飾ります。

対 象：区内在住・在学の小学1～6年生と保護者(小学1～3年生は保護者同伴)

定 員：10組20名(定員を超えた場合は抽選)

参加費：無料

申込み：往復はがきまたはFAXで、住所・電話番号・FAX番号・参加者全員の氏名(フリガナ)・学校名・学年を書いて12月22日(火・必着)までに郷土博物館へ(1枚につき子ども2名まで申し込み可)

問合せ：郷土博物館 杉並区大宮1-20-8

☎ 3317-0841 FAX 3317-1493



まゆだんご

### 教育委員会の動き(平成27年9月～平成27年11月)

【教育委員会開催状況】 ・定例会6回 ・臨時会1回 ・議案13件 ・報告事項12件

【主な案件】 ○は議案、●は報告事項

- 「平成27年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価(平成26年度分)」について
- 次世代型科学教育の拠点づくりに関する調査・研究業務報告書について
- 平成27年度「杉並中学生生徒会サミット」の実施報告について
- 平成27年度「杉並区中学生海外留学事業(第3期)」の実施報告について
- 「すぎなみウェルネスDAY2015～からだ力(りょく)向上を目指して～」の実施報告について
- 「平成26年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」の結果等について

●再生紙を使用しています